



各事業所で行われた節分の行事。なかやま認定こども園からも可愛い園児たちが、豆まきに来てくれました。皆そろって豆まきの口上を述べ、「鬼のパンツ」を元気よく歌ってくれました。また、じゅげむでは、夕方に谷門地区の子供たちが、古式ゆかしい衣装を羽織り、伝統的な豆まきを行ってくれました。



2/15、第6回グループホームせいひ運営推進会議が行われました。今回は、平成30年度の外部評価と自己評価について説明を行い、結果報告いたしました。また、次年度の運営推進会議の具体的な内容やグループホームでの行事などの取り組みについて有意義な話し合いを持つことができました。



2019年（平成31年）
3月1日発行
<第227号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>

冬の感染症にご注意を！

インフルエンザ流行のピークは過ぎましたが、今後も流行が継続する恐れがあります。またノロウイルスをはじめとする感染性胃腸炎も注意が必要な時期でもあります。どちらも乳児や高齢者の方が感染すると重症化しやすい感染症です。

せいひ会はご利用される皆様が「集団で生活される場」となります。感染が広がりやすい環境であることを職員がしっかりと認識するために、感染対策委員会が中心となり、感染症についての知識や予防策の勉強会を行っています。

まずは感染症を持ち込まないために、せいひ会の各施設におきまして、引き続き面会制限の実施を行っております。ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

随ずつこらばし

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。今月GHせいひの瀧本好子さんです。

平成29年12月16日、せいひ会在宅部グループホームせいひへ入職いたしました。私は、八人兄弟の二女として生まれ、とても賑やかな家庭で育ちました。長崎市内から、西海市での一人での生活に時々、寂しく思うことがありますが、西海市は海がきれいで花々も多く、自然豊かでとても素敵な場所だと感じています。

ここに入職する前は、長崎市内の病院で5年勤めていたこともあり、介護施設と病院での働き方の違いに戸惑うことも多

く、不安でいっぱいでした。しかし、平成30年10月に実践者研修の資格を取得させていただき、無事修了することができたことで、ほっとしたのと同時に自分への自信にもつながりました。今後とも研修などに参加しながら、認知症について深く学び、知識や技術を身に着けることができるよう日々努力し、その人個人に寄り添ったケアができる介護職員を目指して頑張っていきたいと思います。

2月3日節分。節分というのは立春・立夏・立秋・立冬の前のことをいうのですが、特に立春が1年の始めと考えられることから春の節分が最も重視されているそうですね。地方で様々な風習があるようですが、その中でも代表的なのが「豆まき」です。各事業所でも豆まきを行い、追い払われた鬼たちが写真に残っていました。現代的なひ弱な鬼も見られますが、やはり、なかやま認定こども園からやってきた緑色の鬼が圧倒的に強そうです。何はともあれ、邪鬼を払い、皆さんに福がきますように。

2月の行事

2日	節分	(通介/じゅげむ)
3日	節分	(GH/風和/寿限無)
9・10日	誕生会	(通介)
15日	運営推進会議	(GH)
27日	避難訓練	(寿限無)



3月の行事予定

2日	ひまつり	(寿限無/通介)
3日	ひなまつり	(GH/風和)
6・9日	誕生日会	(通介)
27日	桜鑑賞	(じゅげむ)
27日	心肺蘇生法研修	(寿限無)
3月中	花見	(寿限無)



